

Nippon Electronic Device Industry Association

# NEDIA

Magazine

2023

# Summer

巻頭言

変わりゆく社会

2023年度後半以降の電子デバイス産業展望

半導体産業は安全保障、世界経済成長のコアになって来た!

2023年後半の半導体を読む

2023年度 半導体製造装置動向

日本電子デバイス産業協会誌

**P3 巻頭言**

### 変わりゆく社会

後藤 正人 株式会社 SCREEN セミコンダクターソリューションズ  
代表取締役 社長執行役員

◆◆ 2023 年度後半以降の電子デバイス産業展望 ◆◆

**P4 半導体産業は安全保障、世界経済成長のコアになって来た！**

～装置・材料 / パワーデバイス / パッケージで大型投資～

泉谷 渉 株式会社産業タイムズ社 代表取締役会長

**P7 2023 年後半の半導体を読む**

津田 建二 株式会社セミコンダクタポータル 編集長

**P10 2023 年度 半導体製造装置動向**

和田木 哲哉 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社  
インベストメントリサーチ部 シニアアナリスト

**P13 10 周年を迎える 2023 年度の NEDIA 事業計画**

NEDIA 事務局

P14 Information

P15 【広告】株式会社チップワンストップ

P16 【広告】株式会社テクノアクセルネットワークス

P17 【広告】フジアルテ株式会社

P18 【広告】セイノーホールディングス株式会社

表3 【広告】株式会社 SCREEN セミコンダクターソリューションズ

表4 NEDIA 会員リスト

# 変わりゆく社会

(株) SCREEN セミコンダクターソリューションズ  
代表取締役社長 執行役員

## 後藤 正人



後藤 正人 (ごとう まさと)

1986年8月 三谷電子工業株式会社 入社  
 1990年8月 同社 退社  
 1990年9月  
 大日本スクリーン製造株式会社 入社  
 1995年6月  
 DNS ELECTRONICS, LLC (大日本スクリーン製造株式会社 米国子会社) 出向  
 2001年4月  
 DSD ELECTRONICS, LLC (大日本スクリーン製造株式会社 独国子会社) 出向  
 2009年10月 生産統轄部 統轄部長  
 2011年1月  
 半導体機器カンパニー カンパニー副社長  
 2011年4月  
 大日本スクリーン製造株式会社 執行役員  
 2014年4月 同社 上席執行役員  
 2014年10月  
 株式会社 SCREEN セミコンダクターソリューションズ 取締役 洗浄技術統轄部長  
 2016年4月 同社 取締役 常務執行役員  
 2019年2月 同社 代表取締役 社長執行役員  
 現在に至る

2013年に設立された一般社団法人日本デバイス産業協会も、2023年に10年の節目を迎え、様々な変化に対応して来ました。2019年には思いもよらなかったコロナウィルスの蔓延に伴うパンデミックで、世界中が翻弄され、各国が貿易管理の為、国境の封鎖や様々な規制・制限を掛け、我々の生活や企業の事業活動にも大きな影響を与える事となりました。

サプライヤーチェーンの分断や自然現象によるダメージ等により、電子デバイスの分野でも素材や必要なデバイス不足により、大きな混乱も生じました。

一方、このような社会環境を受けて、生活や就業のあり方の見直しがされ、Work from Home や Online 授業といったリモート端末をより活用した生活スタイルに移行し、コロナウィルスの脅威が一段落しつつある現状でも、このスタイルが定着して来ました。

この変化により、リモート端末の普及が進み、これに伴う通信環境の整備も益々、重要になって来ています。

これら社会環境の変化に伴い、DX や GX と言った新たな社会的な価値へ大きく舵取りをしていく中で、電子デバイスが益々、重要な役割を担っていきます。日本も半導体製造の復権を掲

げて、政府の後押しを受けながら、最先端デバイスからディスクリットまで広い範囲での新規投資や生産増強が計画されています。

あらたな領域へのチャレンジに挑むと同時に、レガシー領域も確実に整備をしていく必要があります。

大きな社会変革を進めて行く一方で、古き良き伝統文化も継承して行かなければなりません。将来へ向けて、必要なバランスを取りながら、変革を進めて行きたいと思えます。

我々、株式会社 SCREEN セミコンダクターソリューションズも古都京都に本社を構える様々な企業と共に、古都に伝わる伝統を守りながら、新たな領域へのチャレンジを続けて参りたいと思っております。NEDIA が電子デバイスフォーラム京都を継続して開催されている事は、正にそのような活動の象徴ではないかと考えております。

エレクトロニクスの分野では、新たな社会の下支えとなる電子デバイスとその性能の向上とともにしっかり供給して行くサポーターとして、活動10年を迎えたNEDIAの一員として活動すると共に、NEDIA がその会員企業各社と一緒に従来にも増して、リーダーシップを発揮していく事を、益々期待しております。